



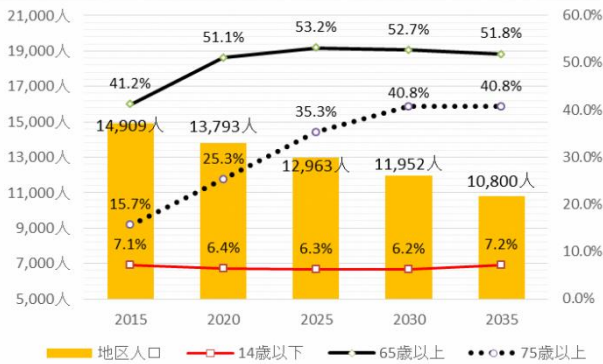
若葉台地区

若葉台地区は、区の北端に位置し、帷子川の源流域である丘陵地を大規模開発した集合住宅団地です。団地中央には商店街や公共施設があり、歩車分離道路や、緑に囲まれた計画的な街並みが形成されています。

高齢化が進んでいますが、ウォーキングやサークルなどの活動が活発で、元気あふれる街です。



将来人口推計

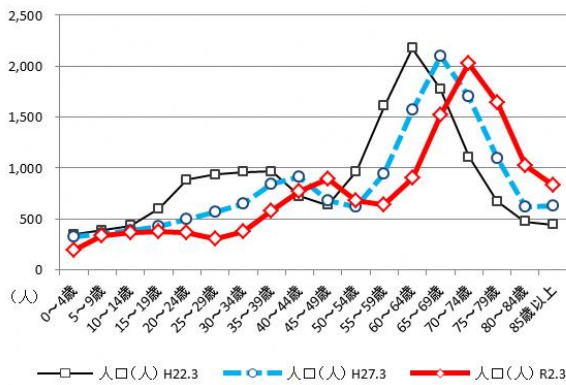


出典：横浜市統計ポータルサイト「町丁別世帯と男女別人口」(各年3月末現在)

将来人口推計は、今後も減少が推測され、65歳以上の比率は2020年には50%を超えています。

14歳以下の比率は、ほぼ横ばいに推移すると推測されます。

年齢5歳別人口の動向



出典：横浜市統計ポータルサイト(各年3月末現在)

平成22年には60～64歳であった5歳別人口数のピークは、令和2年には70～74歳となっています。また、平成22年・27年に比べて年少人口は横ばい、70歳以上の5歳別人口は増加しています。

65歳以上の高齢者の割合は、平成27年には41.2%でしたが、令和2年には51.1%と区平均の29.2%を大きく上回り、高齢化が進んでいることが分かります。

人口、世帯数、年齢別人口等の動向

	H22	H27	R2	H22-R2 増減数	H27 構成比(%)	R2 構成比(%)	R2区平均 構成比(%)
総人口(人)	16,089	14,909	13,793	▲ 2,296	100.0	100.0	100.0
0～14歳(人)	1,170	1,063	881	▲ 289	7.1	6.4	11.6
(内0～6歳)(人)	494	477	319	▲ 175	3.2	2.3	4.9
15～64歳(人)	10,452	7,707	5,869	▲ 4,583	51.7	42.6	59.2
65歳以上(人)	4,467	6,139	7,043	2,576	41.2	51.1	29.2
(内65～74歳)(人)	2,883	3,805	3,553	670	25.5	25.8	13.2
(内75歳以上)(人)	1,584	2,334	3,490	1,906	15.7	25.3	16.0
総世帯数(世帯)	6,679	6,714	6,728	49	—	—	—
平均世帯規模(人/世帯)	2.41	2.22	2.05	▲ 0.36	—	—	2.13

出典：横浜市統計ポータルサイト「町丁別世帯」、「町丁別年齢別男女別人口」(各年3月末現在)

※人口・世帯数の数値は町丁目別単位での集計のため、町丁目地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。

●私たちが描く地区の未来図

『困ったときに声をあげられる雰囲気のあるまちづくり』

地域には価値観、考え方の違う人など、いろいろな人がいる。そして、いろいろな関わり方がある。困ったときに声を上げ、それを受け止めることができる地域が、私たちが描く地区の未来図になります。

●目標と主な取組

目標A：お互いを気にかける環境を作る

○みんなであいさつ運動を継続し充実させる

- ・登山の時のようにいつでもだれとでも
- ・名前を知らなくても顔見知り
- ・生活の中で自然に、肩肘張らずに

○移動サロン「ほっこり」の継続実施

- ・だれでも自由に気軽に参加しやすい工夫
- ・わかばの広場で、様々な場所で、扉のないテントで
- ・なんでも気軽に相談できる場所を併設

○みんなでちょっとだけ迷惑をかけあえる、寛容な地域づくり

- ・「手伝って」「助けて」など言える付き合い
- ・「気になる」前の声かけ、「気にかける」運動
- ・日頃のちょっとした気づき、声かけから災害時の助け合いへ



あいさつ運動
(のぼり旗)



目標B：地域のだれもが参加のできる機会がある

○だれもが地域活動に参加しやすい環境づくり

- ・子育て世代、学生、こども、障がい児・者、高齢者、転入者、だれでも
- ・自治会活動、清掃活動、サークル活動、スタンプラリーなどのイベントを通して
- ・ジュニアボランティアの活動

○これまでの取り組みを大切に、時代や多様性を取り入れさらに充実させていく

- ・コロナ禍での就労や子育て環境の変化にも対応
- ・屋内から扉のない屋外へ、気軽に参加できる活動

○若い世代目線での地域活動づくり

- ・若い世代が集まれる場所
- ・若い世代が声をあげられる雰囲気

○企画段階からのプロジェクト参加

- ・組織間連携と情報交換・共有
- ・学校と地域の連携



ジュニアボランティア
(ベンチ清掃)



公園での活動
(プレイパーク)

目標C：だれもが気軽に集まれる身近な場がある

○移動サロン「ほっこり」を継続的に実施し、身近な場所で展開していく

○だれでも参加できるサロン開催の呼びかけ

- ・自治会、かがやきクラブ（老人クラブ）、子育てサロンなど既存のサロンと連携

○今までの活動を大切にし、時代やニーズの変化に合わせて、既存の活動とつながりあう

- ・清掃活動や園芸活動、防災訓練などへの参加の呼びかけ
- ・こども連れでも、こども同士でも参加しやすい雰囲気づくり
- ・ひとりでも気軽に参加できる雰囲気づくり

○集会所やピロティを活用しだれもが利用できる居場所づくり

- ・世代に応じた居場所・たまり場
- ・多世代で参加できる交流の場

○サークルやボランティアグループの紹介

○緑豊かな若葉台の特色を活かしたオープンな居場所づくり

- ・プレイパークなど、環境を利用した居場所
- ・外出しやすく、仲間づくりをしやすい雰囲気



こども花壇



プレイパーク



移動サロン「ほっこり」
(丸太公園)

目標D：地域の取り組みを多くの人に伝える、だれもが地域へ情報を発信できる

○地域の取り組みを情報発信する

連合・単位自治会、地区社協、行政委嘱委員、かがやきクラブ（老人クラブ）、ボランティア団体、NPO、学校、まちづくりセンター、地区センター、地域ケアプラザ、その他多様な活動

○若い世代へのメッセージ発信、若い世代からのメッセージ発信

○ICT（情報通信技術）の活用

○地区社協だよりの充実

○支援を必要としている人、支援をしたい人への情報提供

●推進体制

若葉台地区社会福祉協議会

連合自治会、単位自治会、住宅管理組合協議会、NPO、民生委員児童委員協議会、保健活動推進員、かがやきクラブ、友愛活動員、青少年指導員、保護司、PTA、ボランティアグループ、学校、幼稚園、保育園

あいさつで みんなつながる 若葉台

●第3期の振り返り

- 地区社協地域福祉保健部会を毎月1回開催し、「孤立防止」をテーマに地区別計画について話し合いを持った。
- お互いにあいさつをしやすい雰囲気をつくるため、あいさつ運動ののぼり旗を設置した。
- 「だれでも来られる場所」「敷居のない場所」「風通しの良い場所」として移動サロン「ほっこり」を毎月1回わかばの広場で開催した。
- 「若葉台高齢者等地域見守り活動報告会」を連合自治会・地区社協とで共催し、地域の取り組みを情報交換した。

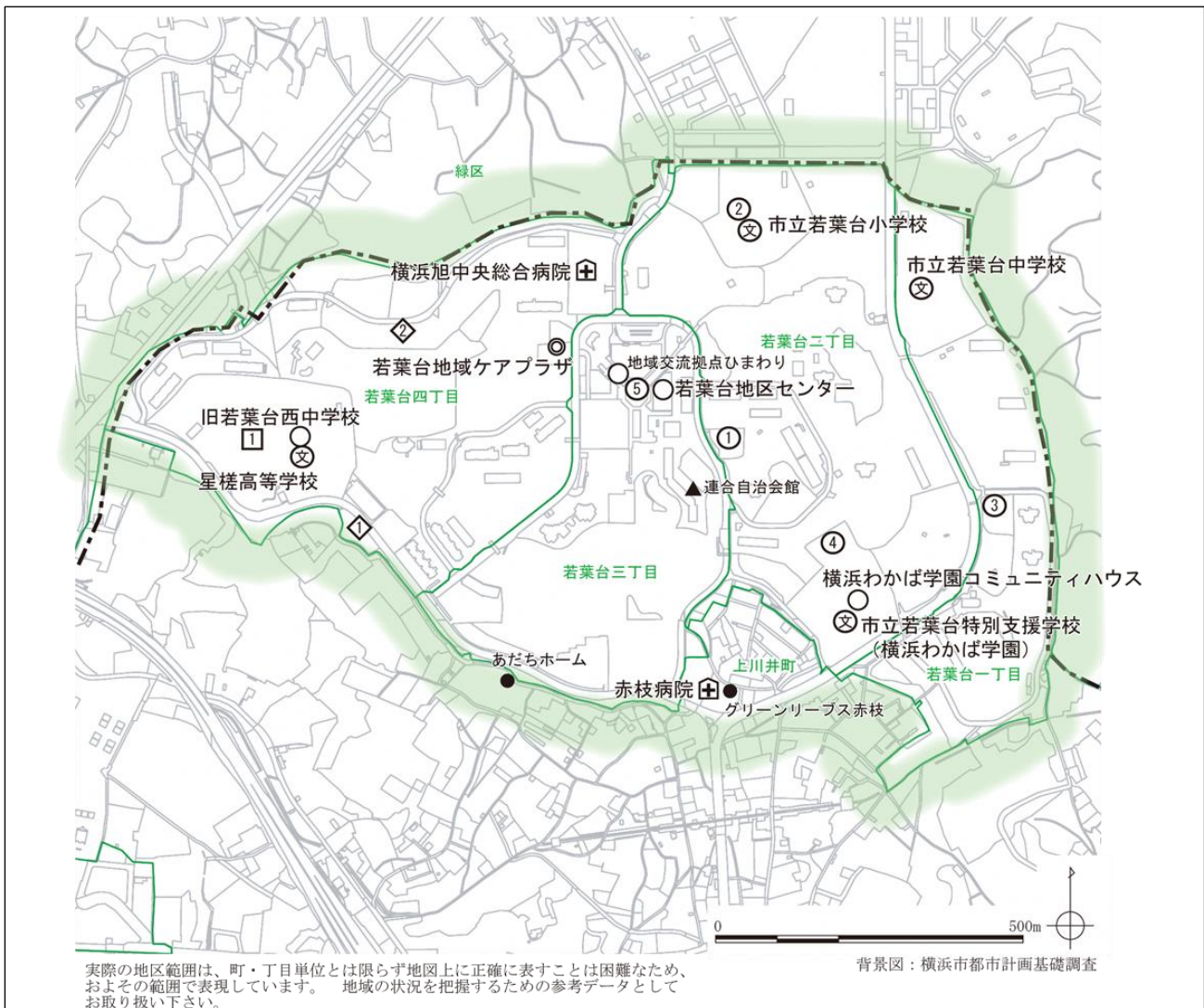


移動サロン
「ほっこり」
(わかばの広場)



地域福祉保健
部会の様子

●地域福祉保健施設の分布



□施設リスト <子ども施設> ◆ 認可保育所 ① 若葉台保育園 ② わかばの森保育園 ◆ 認定こども園 ③ オーセルわかば幼稚園 ◆ 幼稚園 ④ プレスクール若葉幼稚園		◆ 親と子のつどいの広場 ⑤ そらまめ <高齢者施設> ◆ 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム) ① トレクオーレ横浜 若葉台 ② ヴィンテージ・ヴィラ横浜	<障害者施設> ◆ その他の施設(通所、入所、障害児) ①【通】若葉台ぶんげいざ ※入所施設には施設名の前に【入】、通所施設には【通】、障害児施設には【児】と表示
--	--	--	---